

平成25年度 学校経営評価（考察） 【生徒編】

保護者アンケート結果と類似している項目もありますが、相対的に満足度は高いです。以下、特徴のある項目について報告いたします。

- （１）「学校生活は楽しい」の項目は、８７％とかなり高い評価です。このことが我々学校職員としては何よりも嬉しいことです。保護者アンケート結果と同じ数値です。

「先生は生徒をかたよらず同じように見て、大切にしてくれている」も、同じく高い評価です。全幅の信頼がえられるよう、さらに取り組みます。

- （２）学習項目では、「授業は理解できる」「積極的に授業に取り組んでいる」「先生方は授業を工夫するなど熱心である」等、かなり高い評価です。

しかし、家庭学習の習慣化やテストに向けての取り組みは、残念ながら低い評価となっています。学力向上は本校において最大の課題です。学習の繰り返しや習慣化を図りたいです。とにかく学習しなければ学力は付きません。家庭学習が習慣化していない人は、まずは１時間でも机に向かいましょう。

- （３）『４つの約束』の中で、挨拶や清掃については高い数値を示しています。「学校の決まりを守り生活している」や「生活習慣や社会的なルール等の指導が行われている」も高い数値です。学校全体が落ち着いて生活できていることがうかがえます。

しかし、一方で、「自分の活動について周囲から信頼されている」「自分の活動について先生から信頼されている」の両項目は、かなり低い値となっています。

中学生期にはありがちなことではあるのですが、出来たときはみんなで賞賛し、お互いの存在を高め合うような雰囲気をつくっていきましょう。全校集会時に多くの人が表彰され、「今回も多くの人々が表彰された。次は自分も、私も表彰されたい」と感想を書いています。

「周囲の友人に親切にしている」「仲間と協力して活動している」の両項目は、かなり高い数値です。やさしい子どもたちの集団です。

- （４）残念ながら「学校でいじめや差別はないと思っている」は、低い数値です。

このことについては、早期発見・早期対応を図れるよう職員間で連携を密にし、取り組んでいます。臨時で全校集会や学年集会を開いたり、年３回のいじめ調査や教育相談を実施したりもしています。１２月には人権週間で全員が標語を作成もしました。いじめ等の多くが、『からかいやちょっかい』です。本校からは、いじめや差別的な発言が消えてほしいと全員で確認しあいました。気になることがございましたら、早めにご相談ください。

- （５）進路情報や指導に関しては８６％が伝わっていると回答しています。ここの点は保護者の回答と相違があります。今後も生き方教育として、さらに進めてまいります。

- （６）「悩みや困ったことは先生に相談できる」は低い数値です。思春期は大人への階段に時期でもあり、大人へ反発をしたり、自分に対して不安になったりする時期でもあります。お子さんから「ちょっと話し（相談）があるんだけど」と言われたとき、「ちょっと待って」ではなく、我々大人（保護者・教職員等）が話を聞いてあげる態勢をとっておきましょう。忙しい時間なら、「〇分待って」と具体的に示すといいですね。

- （７）学校行事や部活動への取り組みはかなり積極的に取り組んでいることがわかります。やらされているのではなく、自ら率先して取り組んでいる生徒が多いことが数値からもわかります。

学校は学力をつけるところであり、集団生活をするにより社会性を学び、実践する場でもあります。**安全で安心して生活できる学校づくりを目指し**、一步前進して新しい上志津中学校をみんなで創っていきましょう。